

記入例

松山市特例奨学資金貸付申請書

(宛先) 松山市教育長

令和2年〇月〇〇日

住所は住民票上のものではなく、実際の居住地を記入してください。

本人・保護者欄はそれぞれが署名してください。

〒〇〇〇-〇〇〇〇 松山市〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇マンション 〇〇号室

本人

フリガナ マツヤマ タロウ

氏名 松山太郎

松山

申請者が成年の場合は記入不要です。

〒〇〇〇-〇〇〇〇 松山市〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇マンション 〇〇号室

保護者
(未成年の場合)

フリガナ マツヤマ イチロウ

氏名 松山一郎

松山

松山市特例奨学資金の貸付を申請します。

本人と保護者は別の印鑑を使用してください。

現住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
松山市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇マンション 〇〇号室

フリガナ マツヤマ タロウ
氏名 (生年月日) 松山太郎 (平成12年〇月〇日生)
本人(携帯電話) 090-****-****
家族等(携帯電話) 080-****-****(父)
自宅電話等 089-****-****

訂正は2線を引き、本人欄の印鑑を押印してください。

在籍している学校・学部 学校名 ~~△△~~ 松山大学 〇〇大学
学部・コース名等 〇〇学部
入学年月 令和2年4月
卒業予定年月 6年3月

対象者区分 現在松山市に居住している
 松山市内に1年以上居住している者の子弟かつ松山市で前期又は後期中等教育を修了している
卒業した学校等 中学校 松山市立〇〇中学校
高等学校 愛媛県立〇〇高等学校
(資格検定等)

家庭状況	氏名	年齢	続柄	住所	職業等	備考
	松山一郎	53	父	松山市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇マンション 〇〇号室	会社員	
	松山花子	51	母	同上	パート職員	
	松山太郎	19	本人	同上	大学生	
	松山良子	16	妹	同上	高校生	

松山市特例奨学資金貸付申請書の記入上の注意

*申請書は、審査の上で大切な資料ですので、事情を詳しくありのままに記入してください。

■「年 月 日」欄

- ・申請書を提出する日付を記入してください。

■「本人及び保護者」の「住所・氏名・押印」欄

- ・住所は住民票上の住所ではなく、実際に居住している住所を記入してください。住所は方書まで省略せずに記入してください。
- ・本人及び保護者の氏名は本名を記入し、フリガナを記入してください。
また、必ずそれぞれ本人が署名してください。**『氏名』の訂正は不可です。ご注意ください。**
- ・印鑑は、申請者本人のものと、保護者等のものが同じにならないようご注意ください。
- ・印鑑は鮮明に押印してください。(※シャチハタ等スタンプ式の印は不可です。)
- ・申請者が成年者の場合、保護者の記入・押印は不要です。

*貸付が決定した場合、この申請に使用した印鑑は、今後返還が終了するまで同じ印鑑を使用していただくこととなりますので、紛失しないようご注意ください。(届出により変更することは可能です。)

本人欄

■「電話」欄

- ・家族等の携帯電話番号は、連絡先をカッコ()書きで記入してください。[例:090-9001-0000(母)、089-948-0000(父職場)など]

■「対象者区分」欄

- ・該当する項目にチェックを入れてください。いずれにも該当しない場合は貸付できませんので**ご注意ください。**

※「松山市に居住している」とは、住民票が松山市にあるということではなく、実際に住んでいることを指します。

※「松山市内に1年以上居住している」とは、募集日開始日(7月9日)の時点で1年以上松山市に居住していることを指します。

家庭状況欄

*同居、別居を問わず生計を一にしている方(本人も含む)は全員記入してください。

*勤務地の関係で一時的に別居している方及び就学又は病気療養のため一時別居している方等も該当します。

■「年齢」欄

- ・年齢は、申請時の満年齢を記入してください。

その他

- ・申請書に記入した内容を訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押印してください。訂正印は、二重線の上に申請者本人の印鑑(申請書本人欄に押印したのと同じ印鑑)を押印してください。修正液の使用は不可です。
- ・申請書は、消えないボールペン等で記入してください。鉛筆や消せるペン等の使用は不可です。